

令和7年度第1回健康づくり推進協議会 議事録

- 開催日時 令和7年8月26日(火) 14時00分～16時00分
- 会場 全国健康保険協会愛知支部 第1会議室
- 出席委員 学識経験者2名、健保組合代表、保健医療関係者2名、事業主代表、被保険者代表、健康保険委員代表 愛知県健康増進部門関係者 計9名
- 出席事務局 支部長、企画総務部長、企画総務グループ長、保健グループ長
企画総務グループ長補佐、保健グループ長補佐2名、
保健グループ職員3名 計10名

《議題》

- (1) 令和6年度第1回健康づくり推進協議会でいただいたご質問・ご意見について
- (2) 第3期データヘルス計画について
- (3) 令和7年度保健事業計画について

《議事概要》

○事務局からの説明

議題1：前回の協議会で委員から頂いた質問及び意見に対して回答及び分析結果について説明を行い、委員の意見を求めた。

議題2：令和6年度愛知県トラック協会との連携状況を説明し、今後の関係団体を通じたアプローチの方法について、委員の意見を求めた。

議題3：令和6年度保健事業結果について説明を行った。

○各委員の発言要旨

【学識経験者・健保組合代表】

- ・生活習慣改善意思なし者の割合をヒストグラムにて提示してもらったが同じ意思がない方でも「健康状態が良いから改善の必要がない方」か、それとも「諦めてしまっている人」なのかによって対応が変わってくると思う。
- ・健診結果にかかる経年変化について、基本的には大きな数字に着目してほしいが、小さい動き（例えば復位リスクが51から50.5に変化など）については本当に誤差で済ませてよいのか確認してほしい。
- ・今回は道路貨物運送業に着目して、業種に合ったやり方で進めてもらったと思うが、すべての業種に実行するのはとても大変である。そのためノウハウをある程度獲得した後は他の組織に展開していく必要がある。協会けんぽが育ててきた愛知県や各市町村との連携も生きてくると思う。
- ・各団体と連携するときには相手のメリットも提示しないと難しい問題を押し付けられたと思われる可能性があるので注意してほしい。

- ・健康宣言はそれほどハードルが高くないと思うので協会けんぽと一緒にやっ払いこうというスタイルも重要なのではないか。
- ・特定保健指導については実施率も重要であるが受けた方の効果についても検証してほしい。

【保健医療関係者】

- ・生活改善の意欲のある人は健診結果の有所見率が低いとか、医療費がかかっていないなどを調べる必要があるのではないか。
- ・健康宣言をしている事業所は経営層の意識が高いから健診受診率などが高いということであれば、経営層にどう本気になってもらうかも大切である。

【事業主代表】

- ・健康宣言をしない事業所は小規模の事業所が多いと読み取れる。小規模の事業所にも力を入れていってほしい。

【健康保険委員代表】

- ・建設業については業界団体と連携する方法の他に工事の元請企業を通じてアプローチする方法もある。